

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成27年3月5日 (2015.3.5)

【公開番号】特開2014-105877(P2014-105877A)

【公開日】平成26年6月9日 (2014.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2014-030

【出願番号】特願2012-256566(P2012-256566)

【国際特許分類】

F 2 4 F 11/02 (2006.01)

【F I】

F 2 4 F 11/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月14日 (2015.1.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザにより空調機の設定温度が変更されると、その変更がされてから前記空調機に対して予め設定されている復帰時間が経過した後に、当該空調機の設定温度を変更後の設定温度から変更前の設定温度に自動的に戻す設定温度自動復帰機能を有する空調制御装置において、

ユーザにより設定された空調機の設定温度を受け付ける受付手段と、

前記受付手段により設定温度が受け付けられると、その受け付けられた変更後の設定温度、変更前の設定温度及び前記復帰時間に基づいて、前記空調機の設定温度を変更後の設定温度から変更前の設定温度に帰すのに要する自動復帰所要時間を求め、前記復帰時間が経過する前までに前記空調機の設定温度を前記自動復帰所要時間をかけて変更後の設定温度から変更前の設定温度に段階的に戻す際の設定温度の遷移を表す設定温度制御パターンを生成するパターン生成手段と、

前記設定温度制御パターンに従って前記空調機の空調制御を行う空調制御手段と、

を有することを特徴とする空調制御装置。

【請求項 2】

外気の温度を取得する外気温度取得手段を有し、

前記パターン生成手段は、更に前記外気温度取得手段により取得された外気の温度を参照し、外気の温度と変更前の設定温度の差が大きいほど、変更後の設定温度を戻し始めてから変更前の設定温度に達するのに要する時間が短くなるように設定温度制御パターンを生成することを特徴とする請求項 1 に記載の空調制御装置。

【請求項 3】

ユーザにより空調機の設定温度が変更されると、その変更がされてから前記空調機に対して予め設定されている復帰時間が経過した後に、当該空調機の設定温度を変更後の設定温度から変更前の設定温度に自動的に戻す設定温度自動復帰機能を有する空調制御装置に含まれるコンピュータを、

ユーザにより設定された空調機の設定温度を受け付ける受付手段、

前記受付手段により設定温度が受け付けられると、その受け付けられた変更後の設定温度、変更前の設定温度及び前記復帰時間に基づいて、前記空調機の設定温度を変更後の設定温度から変更前の設定温度に帰すのに要する自動復帰所要時間を求め、前記復帰時間が

経過する前までに前記空調機の設定温度を前記自動復帰所要時間をかけて変更後の設定温度から変更前の設定温度に段階的に戻す際の設定温度の遷移を表す設定温度制御パターンを生成するパターン生成手段、

前記設定温度制御パターンに従って前記空調機の空調制御を行う空調制御手段、  
として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明に係る空調制御装置は、ユーザにより空調機の設定温度が変更されると、その変更がされてから前記空調機に対して予め設定されている復帰時間が経過した後に、当該空調機の設定温度を変更後の設定温度から変更前の設定温度に自動的に戻す設定温度自動復帰機能を有する空調制御装置において、ユーザにより設定された空調機の設定温度を受け付ける受付手段と、前記受付手段により設定温度が受け付けられると、その受け付けられた変更後の設定温度、変更前の設定温度及び前記復帰時間に基づいて、前記空調機の設定温度を変更後の設定温度から変更前の設定温度に戻すのに要する自動復帰所要時間を求め、前記復帰時間が経過する前までに前記空調機の設定温度を前記自動復帰所要時間をかけて変更後の設定温度から変更前の設定温度に段階的に戻す際の設定温度の遷移を表す設定温度制御パターンを生成するパターン生成手段と、前記設定温度制御パターンに従って前記空調機の空調制御を行う空調制御手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係るプログラムは、ユーザにより空調機の設定温度が変更されると、その変更がされてから前記空調機に対して予め設定されている復帰時間が経過した後に、当該空調機の設定温度を変更後の設定温度から変更前の設定温度に自動的に戻す設定温度自動復帰機能を有する空調制御装置に含まれるコンピュータを、ユーザにより設定された空調機の設定温度を受け付ける受付手段、前記受付手段により設定温度が受け付けられると、その受け付けられた変更後の設定温度、変更前の設定温度及び前記復帰時間に基づいて、前記空調機の設定温度を変更後の設定温度から変更前の設定温度に戻すのに要する自動復帰所要時間を求め、前記復帰時間が経過する前までに前記空調機の設定温度を前記自動復帰所要時間をかけて変更後の設定温度から変更前の設定温度に段階的に戻す際の設定温度の遷移を表す設定温度制御パターンを生成するパターン生成手段、前記設定温度制御パターンに従って前記空調機の空調制御を行う空調制御手段、として機能させるためのものである。